

1年生探究活動のポスターセッションが行われました

探究担当

12月10日（月）、1年生探究活動の発表会（ポスターセッション）が行われました。

中間発表に引き続き、重点項目を「発表は発表者と質問者でつくられる」とし、質疑応答の時間を多くとることで課題を明らかにすることを試みました。

1年生は文学、地理歴史、政治経済、語学、数学、理科、家庭・保健・福祉、芸術の8分野の中から興味ある分野を選んで班をつくり、計37班で探究活動を行ってきました。37の班を3つの発表グループに分けて1班2回発表を行うことで、1人発表者を2回、質問者を4回体験しました。重点項目に即して活発な質疑応答が行われました。

政治経済の班では、アンケートの結果を考察に用いて地域活性化に向けての提言を行いました。語学の班では英語でポスターを作成し、発表を行いました。司会・進行は生徒の代表が行いました。生徒は主体的に取り組む姿勢を最後まで見せてくれました。「誰もが探究者として、発表者として、質問者として探究活動をつくっていく」という意識を共有しながら進めることができたと考えております。今後は、質疑応答で寄せられた質問や付箋に書かれた提言から振り返りを行っていきます。

活動にあたっては、アンケートやインタビューなどで、地域の皆様に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。来年度はさらに活動を拡充していく予定です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



1年生探究活動ポスターセッション テーマ・発表概要

文学①班 昔と今の生き方の違いとは？

私たちは昔と今で変化するものを知ること、現代との生き方の違いを知りたいと思った。衣食住や感情といった観点から平安時代の生活について調べ、今との違いを考察した。感情表現の変遷などという観点でもっと調べていきたいと思った。

文学②班 秋田県にゆかりのある俳人は、どのような人がいるのだろうか

秋田県は自然が豊かで美しさを持っているので、秋田県を訪れた俳人や詠んだ句はどのようなものか気になった。そこでインターネットで調べると、秋田県出身の俳人、秋田県を訪れた俳人がたくさんいることがわかったので、その俳人たちについて詳しく調べた。

文学③班 言葉はどう変化するのか？

普段、何気なく使われていることばは、どのような意味を持っていて、そしてどのように変化していったのかを調べた。日本語の意味についてよく考えることで、普段使っている言葉にみがきをかけたいと思い、言葉について調査した。

文学④班 秋田を文学的かつ客観的に見るとどのようなものだろうか？

私たちは、県外からの視点で秋田を捉えた作品にどのような表現があるのか興味を持った。それぞれの時代背景、見方があることに留意しつつ、私たちの認識し得ていない秋田のカタチを県外の文学作品に探した。その結果注意すべき文章を発見した。

地理・歴史①班 皆瀬の温泉の魅力を湯沢により広げるにはどうすれば良いのか？

湯沢は温泉で有名だが、その中で皆瀬を取り上げて調べた。地域のホームページやパンフレットを利用し、温泉の魅力について深く調べた。また小安峡が有名なので、もっと取り上げ湯沢の活性化にも繋がる方法を提案したい。

地理・歴史②班 大名行列はなぜ行われるようになったのか？

湯沢市の歴史を知らない人が多くいる中で、僕たちが大名行列を通して湯沢の歴史を調べました。そのことを多くの人と共有する事で湯沢について興味を持ってもらえるのではないかと考え活動をしました。これをきっかけに湯沢の活性化のためPRしたいです。

地理・歴史③班 なぜ今まで湯沢の大名行列が継承されてきたのか？また、これから自分たちにできることは？

自分たちの身近な行事についてインタビューやインターネット、パンフレットで調べた。するとその行事の由来や、継承するための工夫を知ることができた。そこで今の自分たちにできることやこれから継承されていく為に何が必要か考えた。

地理・歴史④班 院内銀山は昔、どのような存在だったのか？

現在心霊スポットとして有名な院内銀山。地元の人でさえそれぐらいの認識しかなく昔どのような存在だったのか、調べることにした。結果湯沢だけでなく日本の経済において重要な存在であったことがわかった。

地理・歴史⑤班 湯沢の文化について（祭り）

湯沢の祭りは歴史が深いと聞いていたのと、僕たちは湯沢の祭りについて浅くしか知らなかったので興味が湧き湯沢の祭りについて調べた。調べたところ湯沢の祭りについて深く知ることができ歴史があることが分かった。湯沢の祭りだけではなく湯沢の歴史や魅力についてもっと調べてみたいと思った。

地理・歴史⑥班 犬っこまつりはなぜ始まり、今に受け継がれているのか。

湯沢市の伝統的な祭りのなかで、私たちは犬っこまつりに興味を持った。そこで、犬っこまつりの起源や歴史を調査すると、もともと犬っこまつりは盗賊の魔除けが起源だったことが分かった。さらに、どのようにして現在の犬っこまつりに変化したのかを調査した。

政治経済①班 犬っこ祭りの活性化による湯沢への貢献とは？

湯沢市がもっと豊かになるためには「湯沢市のイベント」が必要と考えた。そこで湯沢に根付く「犬っこまつり」に注目して調査を行った。すると年々来場者数が減少していることがわかった。そこで増加へ導くための対策を考えた。

政治経済②班 湯沢の活性化の鍵は何か

湯沢では、人口減少が進み、町の活気も目に見えるほど衰退してきている。しかし、湯沢に住んでいる私たちでも、なぜ衰退が進んでいるのか、具体的な理由がわからなかった。そこで、湯沢の現状を問うアンケートを実施したところ、湯沢の課題が見えてきたので、そこから、湯沢の活性化の具体策を考えた。

政治経済③班 なぜ、湯沢市にはシャッター街ができてしまったのか。

近年の日本の喫緊の課題として地方の衰退があげられる。シャッター街の増加は市全体の活力の低下にもつながっていることから、このシャッター街は、どのような経緯でできたのかを調べた。

語学①班 方言のおもしろさ

~Interesting Dialect~

近年、秋田県内の若者の方言離れが進行していると感じる。そこから私たちはもう一度秋田県の方言を皆さんに知ってもらおうと思い、秋田の方言と海外の方言に着目して特徴を調べてみた。その結果、地域による言葉の違いがあり、方言の面白さを再確認した。そこで、インスタグラムやツイッターなどの SNS でハッシュタグに秋田弁を用いて世界に広めることを提案する。

語学②班 方言はいらねべ！～それだばおがだす！

~ You don't need the dialect! ~It is just too much!~

おめがいねどおらだばとじえねしてしんでしまう！それだばおがだす！あなたはこの文を理解することができますか？最近の田舎の若者は方言から遠ざかっているようです。方言= かつこ悪い だからなくてもいい。本当にそれでいいのでしょうか。

語学③班 日本語が外国で使われるようになったきっかけは？

Why did Japanese start to use in foreign countries?

日本では外国語が使われている。そのように、外国でも日本語は使われている。その日本語はどんなものか。また、使われるようになったきっかけはなにか調べることにした。そして、それらを調べることによって、秋田弁を PR することにつながると思った。

語学④班 外国語が元になってできた日本で有名な物は？

What are a language and the thing which a foreign language causes it, and were made?

日本では様々な外国語が元になった言葉が使われている。それらの外国語について調べることによって、言語についての理解を深めるとともに、それらを発信することを目的として調査を行った。

数学①班 湯沢の人口減少についてサンロードを利用し、人口減少を防ぐには？

秋田県の中でも特に人口減少が進んでいる湯沢市ではどのようにすれば人口減少を防げるのかという疑問を持ちました。そこで僕たちはサンロードを活性化することで人口減少を解消できるのではないだろうかと考えました。

数学②班 湯沢のお土産と観光客数の変動

近年、湯沢市の人口に減少傾向がみられる。そこでお土産と観光客数に着目し、その関係また改善案について、私たちは考えた。インタビューやインターネットを駆使し、調査をした。その結果は……！CMの後で！

数学③班 湯沢の名所を効率よく回る方法とは？

湯沢の活性化には観光客の増加が必要不可欠だ。名所の効率のよい回り方を調べることでより多く湯沢の魅力に触れ、湯沢の活性化につなげることができると思った。予想を立て、時間・距離・料金を調べることによって効率のよいルートを導き出した。

数学④班 七夕祭りの観光客増加のために…

湯沢市を発展させるためには、観光客を増加させることが必要である。私たちは、七夕祭りに着目して、観光客の増加を図ろうと考えた。七夕祭りでのインタビューの結果に対する考察から具体的な方策を考えた。

理科①班 セリの鮮度を保ったまま届けるにはどうすればよいか

湯沢市の特産品の三関セリ。鍋やいものこ汁など、様々な料理に使うことができる。そんなおいしいセリを鮮度を保ったまま田舎から都市に届けるにはどうすれば良いのか、興味を持った。そこで色々な保存方法を試し、どれが一番鮮度を保つことができるか実験し、考察した。

理科②班 どうすれば、熊や鹿との共存が可能なのか。

近年、ニュースなどで熊や鹿など害獣による被害が増加しているということをよく見る。私達はその害獣たちを殺さずに共存することが可能ではないかと調べることにした。害獣による被害を調べ、山菜採りやキノコ取りの途中に襲われていることが分かった。

理科③班 湯沢の湧き水を使って作る作物には、成長の違いがみられるのか

湯沢には力水という湧き水がある。地域の人はこちらを利用しているのを知り、その湧き水に興味を持った。そこで、力水で育て、どのように成長に影響するのかを調べてみたいと思ったから。

理科④班 川の水質調査をして、生物の住みやすい環境を作るには？

近年、日本で水質汚染が進んでおり、持続可能な環境づくりが目指されている。そこで、身近な雄物川上流に住む指標生物や水質を調査した。結果、指標生物は見つからず、水質は生物が住みづらい環境となっていることが分かった。

理科⑤班 湯沢高校は一日にどのくらいの電気を使っているのか

湯沢高校は電力が小さいという話を聞き、どのくらいの電気を使用しているのか調べてみたいと思った。また、電気使用量を求めて日頃どのくらい電気を使用しているのか調べたいと思った。今回調査した3日間と節電時を比較した結果、窓側一列だけを消すことでかなり節電できることがわかった。

家庭・保健・福祉①班 塩分摂取量の多い秋田県でどうすれば減塩かつおいしく特産品を使った料理を作れるのか

秋田県では、他県に比べ過度の塩分摂取により生活習慣病にかかる人や死亡する人が多い傾向にある。そこで、生活習慣病による死亡者の割合が最も高い高齢者でも食べやすいような料理を考えることが塩分摂取量と生活習慣病の関係の改善につながるのではないかと考えた。

家庭・保健・福祉②班 湯沢市では健康になるためにどのようなことを行っているのか？

「過疎化や少子高齢化が進んでいる湯沢市を盛り上げ、活気良い町づくりに貢献したい」と思い、このテーマで調査をした。結果、湯沢市ではたくさんの様々な取り組みが行われていることが分かった。結果から、湯沢市民は健康なのか？という問いが生まれた。

家庭・保健・福祉③班 湯沢の特産品に隠された秘密とは何か？

湯沢の人々がより健康になるためにどのようなことが必要なのかを考えたとき、私たちは「食事」という身近な行為に工夫をすることが必要だと考えた。そこでさらに湯沢の人々が親しみやすい特産品を利用するという方法で、どんな工夫をすればよいか考察した。

家庭・保健・福祉④班 日本とスウェーデンの福祉の違いとは？

最近、家庭科をはじめとする授業の中で高齢者への介護福祉制度について学びました。そこで、日本の福祉は他の国とどのように違っているのかについて調べ、日本の福祉の課題について考えることにした。今回は『福祉大国』とも呼ばれている、スウェーデンを対象に調査した。

家庭・保健・福祉⑤班 各世代の人々が快適に過ごすためには？～少子高齢化の解決に向けて～

近年急速に進んでいる少子高齢化。その対策を見つけるために私たちは湯沢市が年代別に取り組んでいる活動を調べ、その活動が市民にどのような影響を及ぼしているのかを調査した。その結果、様々な政策がされている一方、ある課題が見えてきた。

家庭・保健・福祉⑥班 元気な高齢者を増やすには？～湯沢市の高齢者と介護に関する現状～

高齢化が進んでいる湯沢市の現状をとらえた上でその現状を打開すべく高齢者を元気にする方法を自分たちなりに考えてみました。また人口減少が介護の仕事に影響を与えていることも見えてきました。

芸術①班 音楽の力で湯沢を活性化！！～湯沢ストリート村を通して～

湯沢市は「音楽のまちゆざわ」として様々な個人・団体が活動を行っているが、若者が中心となって活躍している団体がいないか調べたところ「湯沢ストリート村」というイベントがあった。「湯沢ストリート村」の活動に関することについてさらに深く調べたところ、ラップなどの音楽を中心に活動していることがわかった。そこで「湯沢ストリート村」をどのように生かせば湯沢市の活性化に貢献できるのか考えた。

芸術②班 ”音楽のまちゆざわ”をさらに活性化させるためにはどうしたらよいか

音楽との結びつきが強い湯沢をさらに活性化させるにはどうしたらよいかという疑問が生まれた。そこで、現在の音楽活動の状況と対策を考えることにした。見えてきたのは若者と大人の間にある音楽への趣味、趣向の違いだった。

芸術③班 市内の音楽の発展～市内の音楽活動の取り組みとは～

湯沢市は明るい街づくりを目指し音楽のまちゆざわを宣言した。そんな中、音楽活動は活性化しているがそれは何のために何を目的としてやっているのか？と疑問に思った。その結果、いろいろな課題が見つかった。

芸術④班 絵灯ろうの起源ってなに？

湯沢の伝統的な祭りである地元の人たちから愛されている七夕絵灯ろう祭り。なぜ始まったか、どうして愛されているのか、湯高生としてもっと深く知りたく思い、調べることにした。すると、昔の人々の思いが伝わってきた。

芸術⑤班 絵どうろうの歴史を知り、将来へ継承・発信していくには

何気なく足を運んでいる地域のお祭り。七夕絵どうろう祭りについて調べていくうちに、さらに将来へ続けていくにはどうしたらよいかという疑問が生まれた。そこで、歴史などの視点から絵どうろう祭りを盛り上げていく方法を考えた。

